

教育委員会だより ①

今回からシリーズで教育委員会の事務事業の紹介を掲載していきます。第1回は、小中学校の再編整備についてです。

広報おたわら10月15日号で小中学校の再編整備について、検討を始めることになったきっかけをお知らせしましたが、今回は、川西地区および黒羽地区を対象に7月から9月にかけて実施した3種類のアンケート結果から、両地区の小中学校再編整備の課題を考えてみることにします。

小学校の保護者アンケート

7月に川西地区の川西、蜂巢、寒井の3小学校および黒羽地区の黒羽、片田の2小学校の保護者を対象としたアンケートを行いました。

内容は、小学校の統廃合に賛成か反対か、賛成の場合は統廃合の組み合わせ、統廃合後の小学校の場所、いつ統廃合をするかなどでした。

川西地区

3校での回収率は86%でした。

このうち、賛成が59%、反対が35%、どちらともいえないが6%という結果でした。賛成者のうち、91%が数年以内に統合を行い、80%が川西、蜂巢、寒井の3校の組み合わせで、57%が今の川西小を統合後の小学校とするとの意向でした。

一方、反対者の意見は、少人数の方が落ち着いて学校生活が送れる、学校までの距離が遠くなる、バスが使えても時間が制約されるなどがその理由でした。

黒羽地区

2校での回収率は93%でした。

このうち、賛成が64%、反対が26%、どちらともいえないが10%という結果でしたが、特に片田小学校だけを見ると、賛成が46%、反対が42%とその差はわずかでした。2校の賛成者のうち、96%が数年以内に統合を行い、83%が黒羽、片田2校の組み合わせで、84%が今の黒羽小を統合後の小学校とするとの結果でした。アンケートの中には、この2校でもまだ少ないので、さらに大きな統合を検討すべきとの意見も8件ありました。

反対者の意見は、川西地区と同様、少人数の方が落ち着いて学校生活を送れる、学校までの距離が遠くなるなどの理由でしたが、統合には良い面と悪い面がある、強く反対ではないなどの意見もあり、保護者の皆様にとっても大きな課題であることが分かります。

自治会長、幼稚園・保育園保護者アンケート

8月から9月にかけて、川西地区と黒羽地区の自治会長の皆様にも同様の内容のアンケートをお願いしました。また、黒羽幼稚園、明星館幼

稚園、くろばね保育園の保護者の皆さまにもお願いしました。

川西地区

15の自治会長のすべてから回答がありました。

すべての自治会長が川西地区3校が統合することに賛成で、数年以内に統合し、統合後の小学校を川西小学校とする回答が85%でした。

幼稚園、保育園の保護者の皆さまについては、小学校の保護者のアンケート結果とほぼ同じですが、やや賛成率が上回り、統合の時期、統合の組み合わせ、統合後の小学校の場所についての回答が小学校の保護者ほど意見が多様ではないことが特徴で、統廃合に関して保護者はほぼ同様の考え方であることが分かります。

黒羽地区

13の自治会長のうち11自治会長から回答がありました。

内訳は、9名が賛成で2名が反対でした。賛成者の全員が数年以内に2校で統合し、7名が黒羽小学校を統合後の小学校として使用するとする回答でした。

幼稚園、保育園の保護者の皆様については、小学校の保護者のアンケート結果よりも一段と賛成が多く、若い世代ほど少子化への懸念が大きいたことが分かります。統合の時期、統合の組み合わせ、統合後の小学校の場所についての回答が小学校の保護者ほど分散しないことは、川西地

区と同じでした。

川西地区、黒羽地区の小学校の再編整備の課題

賛成、反対

アンケートの結果では賛成者が多く、反対者でも強く反対するものではないなど、おおむね旧黒羽町時代の方向性が浸透していると思われるます。

学校の運営には地域の協力が不可欠ですので、今後は地域の皆さまのご意見をお伺いする機会を設けたいと考えております。

教育委員会の考え方

川西、黒羽地区の小学校の再編については、旧黒羽町時代に示された方向性、大田原市小中学校適正配置検討委員会の提言書、今回のアンケート結果を総括したうえで、6名の教育委員で協議し、関係者と十分に協議しながら積極的に推進することを確認いたしました。

統廃合の実施時期

はじめに統合ありきの議論では重要な課題を見失うことがあります。時期を定めることで議論が深まり、具体的な内容が検討できる段階に達したときが時期を議論する環境が整ったときと考えています。

問い合わせ

教育総務課 小中学校再編整備担当

TEL (98)71111